

青海マイコミ平にて

[illegible][illegible]

ここも、せまくいまにもくづれてきそうな岩で、できている底のある洞窟だった。アリの巣のような洞窟にもぐっていくことは危険でありまたひどいものだ。その上、まったくやみでせまくうすぎたない岩が、私の体におおいかぶさってくるようだ。何がおもくるしい気分になる。未知へのあこがれの心は、わいてくるのだが、私の危惧な心が、私の探求心をなぐさめているようだ。そんな時私は私自身にあわれみを感じる。2日目の夜がきて3日目の朝がきた。昼から石けり洞調査。そして雨。みんなずぶぬれになり帰る。これから終りの日までうとうとしい天気がつづいた。おかげで私の作業服はどろまみれ。雨にぬれブスユのにおいがしみこんだまったく無残なものである。とくに私はよくすべった。すべってすべってすべりまくった。この点私は足腰が弱いのに気づくもっときたえなければ。そしてまた3日目の夜がきて4日目の朝がきた。今日は朝から雨がしとしと。雨におびえた私たちは、テントの中でなんじゃかんじゃしているうちに4日目の夜がきて、5、6をオミットして7日目の朝がきた。穴見山からの水準測定のためハ木さんと登る。水準測量器片手にもつてのブスユこぎにはまいった。片手で枝をのけると、足がひっかかり、足を枝からのけると顔に枝があたり私はいらいらしてきた。それにアア君がごていねいに私の頭の回りをずつつりてくる。ますますいらいらしてきた。もっと冷静にならなければならないと思うのだが、おもいどうりに歩けないと腹がたってくる。まだなれてなりのだろうからかな。また方向おんちぎみのハ木さんが穴見山を見失ったため、それに私も方

向おんちなので、下山。だめな2人。そして7日目の夜がきて8日目の朝がきた。銀鳳洞までの測量の手伝い。私にとっては、実にめんどくさいものだった。私はただじっとがまんの子であった。最後の日、またもハ木さんと踏査。3、4の新洞をクマに会わないかと私はおびえながら帰ってくる。そのうちの1つは、かなり大きなもので洞口付近には、雪がたまっていて、洞口まではほぼ垂直にちかい岩場なので、私の技術ではとてもむりなのでまた時間もなかったのでくわしいことは来年にやりそう。来年あそこに行けるのだろう。さびしい話。もし私がいくならはたして1日でたどりつけるだろうか。たよりない話。もっと動物的感觉と地図の見方を養わねば。とにかく、10日間という短い期間ではあったが、ひざに石があたるような事故もなく無事に終わった。当初の計画の阪大との合同隊も、合同隊を組む以前に話し合わねばならないことを出発の日を目の前になって問題になるというおかしなことになって流れてしまったけれど、これを教訓にして今度はうまくいくと思うのだが洞窟班のメンバーがひじょうにさびしいのでこれから前途はさびしいと思う。感動と興奮による初めての夏合宿の感想はこれくらい。おわり

(西口)★

★ P.S ★

最後にこの報告書および今合宿にあたって色々御厚意を賜った関係各位に対し感謝の意を表明する次第である。

★ 撮影についての反省・感想 ★

洞窟の写真を撮るのとは何分はじめてなのでとれるかどうか不安だった。洞窟内は、まっくらなのでファインダーをのぞいてピントを合わせ、キョリを決めることができないので、適当にキョリをきめて露出をあわしたため写っているかどうか自信がなかったが、できた写真をあとで見るとうまくとれているのにうれながら満足した。色もきれいにでていた。ただ、ファインダーをのぞいてもまっくらなので、どういうアングルでとればよいのか見当がつかないのには、困った。やはりアングルの方がきまっていなかったようだ。洞窟内は、温度差もあまりなく流水もなかったのも、さほど苦労はなかったが、カメラにドロがつくのが心配だった。

踏査における撮影については、地形をあまりよく理解していなかったため、田中さんなどに指示してとるといった状態だった。(もちろて)

またASA200のところをASA100でとるといった初歩的なミスもおかしてしまったため、黑白写真で一部コントラストのきついのもあった。あれなどは半切か全紙ぐらいにひきのばすとすばらしいと思うのだが。私としてはもう少し行動記録などとりたかったのだが、雨が多かったため、あまりとれなかったのが残念だ。今後私は8ミリなどによる撮影をやりたいと思っている。今T.V.でやっている「すばらしい世界旅行」とか「驚異の世界」ぐらいとられればすばらしいと思う。やはり生きた活動は、あとになっても生きたものとして我々に感動を与えなければならぬ。そのために映像による記録などに力を入れようと思っているのであります。

<西口> ★

世界の洞窟 と、青海洞窟

青海洞窟 (深度)

千里洞 (405m)
白蓮洞 (355m)
奴奈川洞 (335m)
銀鳳洞 (330m)

世界の堅穴洞窟 BEST. 10. (深度)

1. フロゲティナ (ギリシア) 1372m.
2. グーフル・ド・ラ・ピエール・サン・マルタン (フランス) 1310.6m
3. グーフル・ベルジェ (フランス) 1143m
4. スプルグ・デ・ラ・フレタ (イタリー・アルプス) 885.8m
5. ハーロッホ (スイス) 739.8m
6. グリュバー ホーン (オーストリア) 709m
7. スニー ツナ (ポーランド) 639.8m
8. グーフル・ド・ファウール (レバノン) 621.8m
9. アビッソ・ヴェレオ (ユーゴスラビア) 539.5m
10. フロゲティナ (ギリシア) 396m